



年々歳々花相似たり 歳々年々人同じからず 園長 笛木 哲

毎年、植物は同じ場所に芽を出し、花を咲かせます。一方、人は出会いと別れを繰り返し、毎年同じ顔ぶれということはありません。3月16日、新型コロナウイルスへの感染予防のために、年長児と職員だけの卒園式を行いました。



60名の卒園児はいつもの彼ららしく笑顔いっぱいにとねがわ幼稚園を羽ばたいていきました。そして本日、たくさんの夢や希望をもって60名の新入園児（年少50名、年中5名、年長5名）を迎えました。依然として新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから、入園式の参加は保護者1名に限らせていただきました。例年にない卒園式、入園式を経験した子ども達は、見えないウイルスに果敢に立ち向かう世界の人々の姿を心に刻み、きっと、美しい希望に満ちあふれた未来を作ってくれると信じています。

職員ですが、功績いっぱいの職員を送り出し、やる気に満ちた職員を迎えました。本年度もプロフェッショナルで個性豊かな担任が切磋琢磨しながら子どもを育ててまいります。どうぞご期待ください。園や担任に任せきりにせず、保護者の皆様と担任が同じ願いをもち、それぞれを尊重しながら力を合わせて子どもを育ててまいりましょう。

人事異動 報告



✿ご退職された先生方 「これまで子どもたちのためにありがとうございました。」

利根川康平理事長(25年の長きにわたり幼稚園を育ててくださいました)、内田望先生、野本友梨先生、眞仁田有記先生、山根敬子先生(こぐまサークル担当)、荒田哲司運転手

✿新しく採用された先生方 「とねがわ幼稚園の子ども達をよろしくお願ひします。」

佐藤由美子先生、曾根原英樹運転手



令和2年度組織

| | | | | |
|----------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 理事長 | 利根川秀之 | | 補 助 | 東方有記(旧姓:眞仁田) |
| 園 長 | 笛木 哲 | | | 新井久美子 |
| 事務長 | 佐々木美代子 | | こぐまサークル | 菅野美和 |
| 年 少 | ば ら | 菅野かほる | | 井上由美子 |
| | ひまわり | 本澤加奈恵 | | 佐藤由美子☆ |
| | も も | 平井梨奈(旧姓:野澤) | | 永井明子 |
| 年 中 | ゆ り | 井出絵美 | | ひよこ組 |
| | さくら | 戸口侑紀 | 預かり保育 | 太田真由美 |
| 年 長 | あやめ | 鹿山詩織 | | バス 運 転 |
| | ふ じ | 渡辺 環 | 曾根原英樹(一日勤務) | |
| | き く | 宮崎 茜 | 駒林 茂 | |
| 補助(4月のみ) | 大野 望(旧姓:内田) | | | 馬場弘行 |

明日の進級式で出会う子どもたちの眼差しは、希望に輝き、まっすぐに未来を見つめていることでしょう。職員一同、子どもたちと『よい出会いをしたい』と楽しみにしています。家に帰ったお子さんが、担任、クラスメイトとの出会いを目を輝かせて語り出したら笑顔で聞いてあげてください。不安そうな目をしていたら、「あなたならきっと大丈夫。」と背中を押してあげてください。喜びは前に進むエネルギーになり、不安や苦しみといった困難はそれを乗り越えた時に大きな成長をもたらします。



令和2年度の『とねがわ幼稚園の教育』

『とねがわ幼稚園の教育』は、多くの先輩たちが丁寧に、じっくりと磨きを掛けて作り上げてきました。その『とねがわ幼稚園の教育』を多くの方々に支持していただき、たくさんの立派な卒園児を小学校に送り出してきました。卒園児が活躍する姿は何より嬉しく、私たちが進めてきた教育の成果を感じます。

しかし、働き方改革が叫ばれているように、本園の職員も年々比重の増す仕事量、仕事内容に、口には出さないものの疲弊しています。子ども一人ひとりがその子らしさを発揮し、成長するためには、保育者の心身の健康は何より大切な環境だと考えます。そうしたことも含め、本年度は、これまで当たり前のように続けてきたこと（園児数が少なかった時代に取り組み始めたことがそのまま継続している等）を再考したり、保育の原点や目的に立ち返って見直したりと、様々な変革を行ってまいります。例えば4月の製作ですが、これまで年少・年中児は、鯉のぼりをつくり、ご自宅に持ち帰っていました。この制作活動の目的の一つは、「鯉のぼりのように元気に、健康であることを喜ぶ」ことにあります。ところが、持ち帰る鯉のぼりを作ることに主眼が置かれ、半日保育が続く慌ただしい日程の中、まだ園にも慣れていない年少さんでも、見栄えのする作品を作ろうと担任は神経をすり減らしました。本年度は、クラスで一つの大きな鯉のぼりを作り、それを青空の下で泳がせるという内容に変更しました。

こうした保育内容だけでなく、教育システムの改革も行います。子ども一人ひとりを大切にする教育（目の前にいる子どもを大切にする教育）の充実、実現のためと、ご理解をいただければありがたいです。

保育者が輝く時

※HPで「幼稚園の様子」毎日更新しています。よろしかったらご覧ください。



教材研究は保育者の「命」 保育者は、「どういう素材が使いやすいか」「子どもが迷わないようにどんな手順で伝えたらよいか」「どの子にもわかりやすい言葉がけや掲示の工夫をしよう」と教材を研究し、自信をもって教えられるように準備します。教材研究をしっかりとやるからこそ、子どもに響く保育ができるのです。本園の教師は、教材研究をしっかりとやってくれます。

★在園児の保護者の皆様へ。園便りを綴る際は、引き続き今のファイルをお使いください。